



東陽病院内科医師 鈴木健士

健康ウォッチング

横芝町のみなさんこんにちは。インフォームドコンセント(説明と同意)についてお話ししたいと思います。

この言葉は、少し前からよく聞くようになりました。たとえば、検査や治療などを受ける際に、それは一体どんなものでどのように行われるのか、なぜ必要なのか、それを行う際に際してどのような合併症が起こり得るのか、またその危険はどの程度なのか、などを十分に説明して、患者さんとご家族の方によく理解していただき同意、了解していただくことです。

インフォームドコンセント (説明と同意)

説明を聞いてもよくわからないから先生の判断でやった方がよいのであればそのようにしてください」と言われる方もよくいらっしゃいます。もちろん必要と思われる事をお勧めしますし、悪いようにするつもりはありませんが、やはり患者さん自身も受ける検査や治療ですし、合併症が起きてしまう可能性もゼロではないわけですからよく内容を理解して判断していただきたいと思います。

手術やある程度体に負担のかかる検査や処置、輸血などを行う際には説明をよく理解し、同意をいただいたという旨の承諾書を書いてもらうことになっていきます。以前に「合併症が起こる可能性もあるのでよく理解し承知しておいて下さい」とお話ししたところ、ある患者さんが「そんなに自信がないのか、先に逃げを打つつもりか!」と怒り出したことがあります。そんなつもりでお話ししたわけではなかったのですが、私の説明の仕方がそのように聞こえたのでしよう、大変反省させられました。もちろんこの承諾書は「後で何かあったときに文句を言うな」などという乱暴なものではなく、神様ではなく人間である医者が行う行為である以上、合併症が起こることも不測の事態が発生することもあることを理解して頂きたいという意味です。責任を回避するつもりはありませんし、不幸にして合併症が起こってしまったときにも最善の処置を行うことは言うまでもありません。

今や情報の開示の時代です。医療の世界も俺に任せておけばは通りません。これからは医師と患者さんがよくコミュニケーションを取り、十分納得した上で治療を行っていることという事です。

医療や健康に関する質問をお寄せください。このページでお答えしたいと思います。質問は、手紙やハガキ又はFAXでお願いします。たくさんのご質問をお待ちしています。

FAX 8412882 東陽病院広報担当



ガラス製品の利用

夏を涼しく演出する

暑い夏。でも、目から「涼」を感じることもできます。ガラス製品を利用するのもそのひとつ。透明感があり、見るからに涼しげなガラス製品を利用して、過ごしやすい夏を演出してみませんか。

美しい細工を施したガラス器は、テーブルウェアに最適ですが、汚れては台無しです。普通に洗っても表面がくもって見えたり、凹凸部分に汚れがしばらくつけてから柔らかい布やスポンジで軽くこすり、ぬるま湯で洗い流します。こうすれば、ガラス器のくもりも黄ばみもきれいになります。

洗った後のガラス器は、水気を拭き取らず、布の上に伏せて自然乾燥させて下さい。

江戸風鈴や昔懐かしい球形の金魚鉢など和風のガラス器も涼しさを感じさせてくれます。金魚鉢には、金魚の代わりにビィ玉や水中花などをいれてもきれいです。

食事ときは、ガラス器をテーブルの主役にするだけで夏のインテリア効果は十分です。ポイントは、異なる素材のもの同士を組み合わせること。そうすることで、ガラスの美しさ、涼しさがひきたちます。

